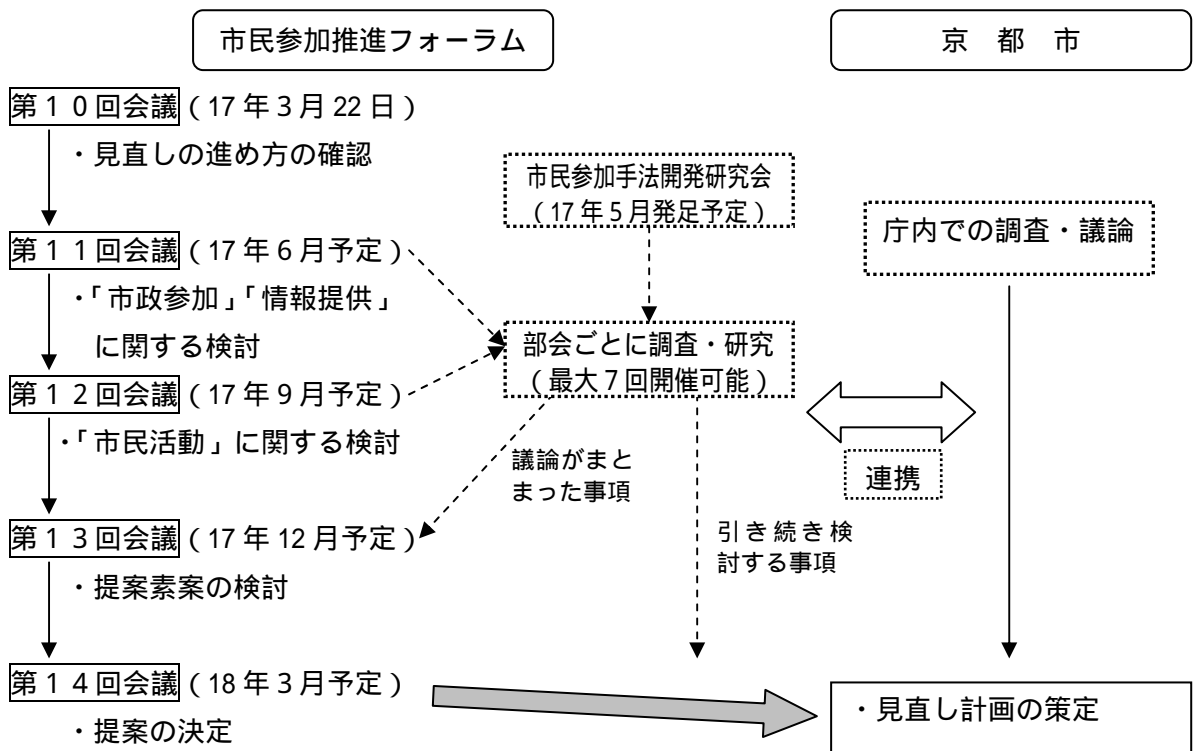


市民参加推進計画の見直しについて（修正案）

1 市民参加推進フォーラムの役割について

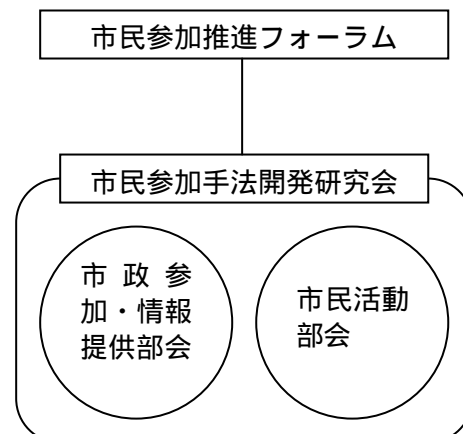
- (1) フォーラムは、市との協働のもと、「市民がより身近に実感できる市民参加」を実現するために行動する。
- (2) 計画の推進に当たっては、市の取組状況について、市民の目線で助言し、必要に応じて自らも行動し、調査・研究を行い、改善案等を提案する。
- (3) 計画の見直しに当たっては、現状分析を踏まえたうえで、計画の基本的方向性（骨子）について議論し、市へ提案することとする。なお、現状分析の材料としては、京都市で実施してきた行政評価やアンケート、指標、55項目の取組状況等を調査・研究することにより行う。

2 検討の流れ



市民参加手法開発研究会について

- ・フォーラムの下部組織として位置付ける。
- ・「市政参加・情報提供」「市民活動」部会を設置し、フォーラムの議論を補完するための調査・研究を行う。
- ・フォーラム委員は、どちらかの部会に所属することとし、必要に応じ外部委員を加える。



< 参考 >

1 市民参加推進計画（抜粋）

市民参加を推進するための意見やアドバイスを得る組織

地域のまちづくりの支援，市民の力を高める取組や市民コーディネーターなどの養成，電子会議室などの意見交換の仕組みの運営など，様々な取組の推進や評価を担う。

市民参加を総合的に推進する。

2 市民参加推進フォーラム設置要綱（所掌事務）

市民参加の一層の推進を図るための行政への助言や提案

地域における市民の自主的な活動の支援や市民の力を高める取組

その他市民参加を総合的に推進するための取組

3 市民参加推進計画の見直しに関する主な経過

（1）第9回フォーラム

・フォーラムは市からの自己評価の提示を受けて，「市民の立場」から評価を行い，特に深く点検すべき点をピックアップする。

・見直しの前提として，京都市がフォーラムに何を求めているのかを明確にすべき

（2）座長・副座長協議

・事務局はフォーラムの一員として，庁内に働きかけ計画の推進状況を整理し，実情に沿った自己評価を，ありのままフォーラムに報告して欲しい。

・フォーラムは推進状況が思わしくないものについて検証し，その解決策を考える。

（3）第7回自主勉強会

・計画の推進は一義的には市が行うものであり，フォーラムは市の取組状況を点検し，市民に働きかけていくことを役割とする。

・点検に際しては，全ての項目を詳細に点検するのではなく，項目をピックアップして点検し，市民の立場に立って助言する。

・まずは，市から55項目の取組状況を一覧シートにして提出してもらう。